

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
臨床薬理学	2年次 前期	必修	講義	1単位（15時間）	中原 努
授 業 概 要					
看護実践上の重要な基礎的知識である薬物の薬理作用や作用機序を理解し、臨床での応用について科学的に説明できるようにする。また、臨床における薬物の有効かつ安全な適用法について理解し、副作用の軽減策について考える。					
到 達 目 標					
1. 医薬品に関する法律、医薬品の管理方法、添付文書の見方について説明する。 2. 薬物治療の必要性、有効性、安全性について説明する。 3. 代表的な疾患に使用される薬物の作用・副作用を説明する。					
実務経験のある教員					
回	学 習 内 容				担当教員
1-8	1. 医薬品総論 （医薬品とその作用原理ならびに適正使用） 2. 循環系に作用する薬（利尿薬を含む） 3. 代謝性疾患に使用する薬 （糖尿病、脂質異常症、骨粗鬆症、痛風・高尿酸血症） 4. 中枢神経系に作用する薬 5. 感染症に使用する薬、抗炎症薬（抗リウマチ薬を含む） 6. 呼吸器（抗アレルギー薬を含む）、消化器、生殖器系に作用する薬 7. 抗がん薬（がん性疼痛の緩和治療、抗がん薬の支持療法を含む） 8. 救命救急時に使用する薬				中原 努 柏原 俊英
学 習 方 法					
講義					
評 価 方 法					
科目修了試験					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕 系統看護学講座 疾病のなりたちと回復の促進[3] 薬理学 吉岡 充弘 他 著 医学書院 今日の治療薬 解説と便覧 浦部晶夫 他編 南江堂					